

# SAVER60 for FAT

リリースノート:平成 17 年 2 月 10 日

リリースバージョン:1.04

## 1.ファイルの構成

¥SAVER60 for FAT ... 各種マニュアル類が格納されています。

FAT ユーザーズマニュアル(01.05).pdf

I/O ドライバ作成マニュアル(01.02).pdf

PCATA カードマニュアル(01.03).pdf

RAM ディスクマニュアル(01.02).pdf

リリースノート(01.04). pdf

¥FAT ... FAT ファイルシステムに関するファイルが格納されています。

Makefile ... FAT ファイルシステム ライブラリ作成用メイクファイル

¥API ... API 部ソースファイルが格納されています。

¥COMMON ... 共通関数ソースファイルが格納されています。

¥INCLUDE ... インクルードファイルが格納されています。

¥OS ... OS 依存部ソースファイルが格納されています。

¥ITRON ... ITRON 用 OS 依存部ソースファイルが格納されています。

¥INCLUDE ... ご使用される ITRON のインクルードファイルを格納するディレクトリです。

¥LIB ... FAT ファイルシステム及びドライバのライブラリが格納されています。

(ビルド時、当ディレクトリにビルド後のライブラリが格納されます。)

FAT ファイルシステム: libfat.lib

PCATA ドライバ: libpcata.lib

RAM ディスクドライバ: libram.lib

各種ユーティリティ: libutil.lib

¥MAKE ... メイク実行用ディレクトリです。

¥OBJ ... ビルド時、オブジェクトが格納されます。

¥FATOBJ ... FAT ファイルシステム オブジェクトファイルが格納されます。

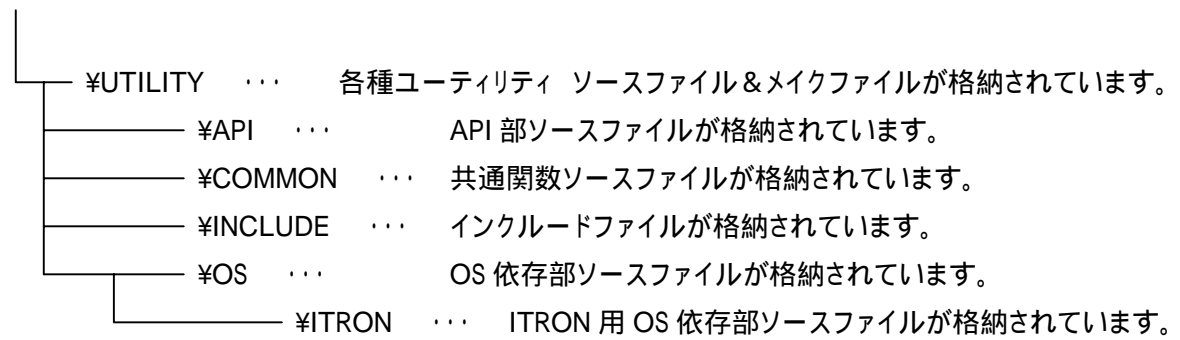
¥PCATAOBJ ... PCATA ドライバ オブジェクトファイルが格納されます。

¥RAMOBJ ... RAM ディスクドライバ オブジェクトファイルが格納されます。

¥UTLOBJ ... 各種ユーティリティ オブジェクトファイルが格納されます。

¥PCATA ... PCATA ドライバ ソースファイル&メイクファイルが格納されています。

¥RAMDISK ... RAM ディスクドライバ ソースファイル&メイクファイルが格納されています。



¥SAVER60 for FAT 下に、収納されている各種マニュアル類は PDF 形式です。

## 2.環境依存ファイル

下記ファイルは、御社のご使用コンパイラ及び開発環境に合わせて、修正願います。

¥SAVER60 for FAT¥MAKE¥SETSHC.BAT … SHC コンパイラへのパス設定用バッチファイル

¥SAVER60 for FAT¥INCLUDE に、ご使用される ITRON のインクルードファイルを格納してください。

¥SAVER60 for FAT¥FAT¥OS¥ITRON に格納してある OS 依存ソースファイルを、ご使用される ITRON に従って、修正してください。

¥SAVER60 for FAT¥PCATA 下の PCATA\_OS\_inh.c、¥SAVER60 for FAT¥RAMDISK 下の RAM\_OS\_inh.c も 同様、OS 依存ファイルですので、同様に修正してください。

¥SAVER60 for FAT¥FAT¥INCLUDE 下の FMR\_DriverConf.h に使用するセマフォ ID が定義してありますので、御社で使用するセマフォ ID に従って、修正してください。

¥SAVER60 for FAT¥UTILITY¥OS¥ITRON に格納してある OS 依存ソースファイルを、ご使用される ITRON に従って、修正してください。

## 3.エンディアン切替方法

¥SAVER60 for FAT¥FAT¥INCLUDE¥FMR\_User.h の修正

35行目: #define DFMR\_ENDIAN\_BIG

上記行をビックエンディアンの場合は定義、リトルエンディアンの場合は、コメントアウトします。

¥SAVER60 for FAT¥PCATA¥PCATA\_Def.h の修正

38行目: #define BIG\_ENDIAN

上記行をビックエンディアンの場合は定義、リトルエンディアンの場合は、コメントアウトします。

¥SAVER60 for FAT¥RAMDISK¥RAM\_Def.h の修正

38行目: #define BIG\_ENDIAN

上記行をビックエンディアンの場合は定義、リトルエンディアンの場合は、コメントアウトします。

¥SAVER60 for FAT¥MAKE¥UserDefSHC.sub の修正

14行目: ENDIAN = big

上記行をビックエンディアンの場合は'big'、リトルエンディアンの場合は' little'と定義します。

ビルドを行います。

#### 4.ビルド手順

¥SAVER60 for FAT¥MAKE にカレントディレクトリを移動します。

SHC コンパイラへのパス設定用バッチファイル: setshc.bat を実行します。

nmake を実行して、ビルドを行います。

ビルド完了後、¥SAVER60 for FAT¥lib に、FAT ファイルシステム: libfat.lib、PCATA ドライバ: libpcata.lib、RAM ディスクドライバ: libram.lib、各種ユーティリティ: libutil.lib が作成されます。

#### 5.更新履歴

01.00

ファーストリリース

01.01

各種ユーティリティとして”SCANDISK”相当ユーティリティをリリース

01.02

- ・各種バグ対応
- ・RAM ディスクドライバ パフォーマンスアップ対応
- ・FAT ファイルシステム パフォーマンスアップ対応
- ・FAT ファイルシステム コードサイズ削減

01.03

- ・各種バグ対応
- ・PCATA ドライバ マルチパーティション対応

01.04

- ・FAT ファイルシステム パフォーマンスアップ対応
- ・R/W バッファサイズをユーザー定義可能とする。

#### 6. 01.04 制限事項

特にありません

平成 17 年 2 月 10 日  
ウェスコム株式会社